

研究・調査報告書

報告書番号	担当
3 4 3	滋賀医科大学福祉保健医学講座
題名（原題／訳）	
Characteristics associated with alcohol consumption in Germany ドイツにおけるアルコール消費と関連する要因	
執筆者	
Burger M, Mensink GB, Bergann E, Pietrzik K	
掲載誌（番号又は発行年月日）	
Journal of Studies on Alcohol 2003;64:262-9.	
キーワード	
アルコール消費、ドイツ、アルコール消費関連要因、生活習慣	
要 旨	
<p>ドイツにおけるアルコール消費と関連する社会生態学的要因、生活習慣関連要因および生活の質についての研究である。ドイツにおける 1998 年の健康栄養調査に基づく成績を分析したもので、ドイツ国民の代表集団 18-79 歳の男性 1925 人、女性 1615 人が分析対象者である。</p> <p>女性においては、アルコール消費は年齢、社会経済状況、家屋の大きさ、喫煙習慣、身体活動、薬物使用、肥満度（BMI）、妊娠、一般的な健康観であった。女性におけるもっとも多いアルコール消費は中年期の高収入者であった。</p> <p>男性では、年齢、社会経済状況、喫煙、身体活動、薬物使用、菜食主義者、家族・近隣の人や友人に恵まれている、社会的役割、身体機能等が関連していたが、年齢と喫煙習慣がもっとも強い関連要因であった。これらの要因はアルコール消費の多い人々への対策や有害な飲酒を予防する上で役立つものと思われる。</p>	